



兵庫県立姫路東高等学校

令和5年3月7日発行

# SSH通信

R4-9(第29号)

## 生徒研究後期発表会を行いました

1月19日(木)、生徒研究後期発表会が行われました。2年次生と1年次生が、いずれもポスターセッションによる形式で、これまでの探究活動の発表を行いました。

初めにこれまでのSSHの取組として、校外研修参加者の活動報告をリモート形式で行いました。活動を報告したのは以下の研修参加者です。

- 東京博物館研修  
(9/30~10/2、国立科学博物館と日本科学未来館、希望生徒)
- SSH成果報告会 (10/29、東海大学付属高輪台高校)
- 兵庫県南部地震と防災研修  
(12/8、野島断層保存館と人と防災未来センター、1年次生全員)



(校外研修の活動報告)



(文系生徒による科学倫理の研究発表)

その後、1年次生・2年次生のポスター発表を行いました。午前は、1年次生が8月から続けてきた課題研究の発表を体育館で、2年次文系生徒が科学倫理に関する研究の発表を百周年記念館で、それぞれ行いました。午後は、2年次理系生徒が4月から続けてきた課題研究の発表を体育館で行いました。自分のグループが発表をしない時間では、他グループの発表の聴講・質疑応答を行いました。最後に、兵庫県立大学大学院教授の川村教一先生よりご講演をいただき、

先行研究をしっかりとめることの大切さや、研究の完成度を高めるうえで質疑応答はとても重要であることを学びました。



(体育館でのポスター発表の様子)

#### ▽ 生徒の感想（一部抜粋）

- 知らない人にも調べた内容が伝わるように、最初に専門的用語を説明した工夫が、聞き手にちゃんと伝わっていることが分かり、とっても嬉しかったです。他にも、質問されるだろう内容を考えていたので、しっかり質問に答えられて、良かったです。（2年次理系）
- ディベートの内容を班で意見をまとめてポスターにする、という流れが思ったより大変だったけれど、今までに肯定・否定の両方の面からテーマについて考え、話し合ってきた内容を、今日の発表でしっかり説明することができたと思う。ガールズエキスポに備えてもう一度班の中で意見をまとめ、よりよい発表になるように頑張りたい。（2年次文系）
- 発表を聴くと、2年生の発表はとても根拠がしっかりしていて、何をテーマとして、どう実験行ったのか、またそこからどんな結果を得ることができたのか、、、研究内容がとても頭に入ってきやすかったです。来年度は今回の探究よりももっと内容の濃い探究にするために、今日の他班の発表を参考にして、今回自分が2年生の発表ですごいと感じたのを、逆に感じてもらえるような探究をしていきたいと思いました。（1年次生）



## 五国 SSH 連携プログラム「第四紀の地層分布と地震災害」を実施しました

1月22日（日）10時30分より、五国 SSH 連携プログラム「第四紀の地層分布と地震災害」を実施しました。大阪公立大学大学院理学研究科教授の三田村宗樹先生をお招きし、阪神地区の地質構造や、阪神地区の平野部で起こりうる地震災害と地質構造の関係について、14名の参加者が学びました。

午前は「阪神間における第四期の地層分布と地震」および「地震被害と地形・地質」と題した講義を聴きました。大阪平野や河内平野の地下の地質の調査方法や、兵庫県南部地震との関連、地震波の伝わり方への断層の影響など、物理的な側面からの見方も学びました。

（午前の講義の様子）



午後は、代表的な地震災害である液状化現象についての実習を行い、地下水の有無やその量による地盤の固さの違いや、その硬さの原因は何か、といったことを、グループワークで実践しながら学びました。

（午後の実習の様子）



#### ▽ 生徒の感想（一部抜粋）

- 今日の講義で、地学の知識だけでなく物理分野や生物分野、数学の知識も必要だったので、毎日の勉強を頑張って、理解できるようになりたいです。講義の後の液状化の実験では、実際に液状化の原理を自分の目で確かめることができたことは今回のプログラムで1番楽しく、とてもいい経験になりました。

左：砂が水で固まるシミュレーション 右：液状化現象の観察